

Vol. 129

2016.4.26

理事長トーク Top Interview

国会議員・法務省・厚生労働省の方々による ケアポート板橋視察がありました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男



外国人の技能実習の適正の実施及び技能実習生の保護に関する法律案（第189国会、内閣提出）等の審査に関連して、外国人労働者が実際にどのように働いているかを知る目的で、衆議院法務委員会の国会議員や法務省、厚生労働省の方々計30名が、2016年4月20日(水)にケアポート板橋を視察されました。



2004年、私が経済同友会の医療改革委員長を務めていた際にとりまとめた「医療先進国ニッポンを目指して」の中で、医師については“医学部の定員を増やし、臨床教育のさらなる充実を図るべき”と提言し、また看護師等については提言作成時点で少子化も影響して定員割れをしている学校もあったことも踏まえ、“日本の医療従事者不足に対応するため、これからは海外からの人材受け入れが必要である”と提言しました。これを契機に健育会グループでは、EPA制度に先駆けてフィリピンから看護師資格を有する留学生の受け入れを独自に開始しました。さらに2007年にEPA制度が国として始まり、以降は健育会グループとしても積極的に海外からの人材の受け入れを行っています。また医学部については、様々な議論を経て、2016年度、17年度と相次いで新設が認可されており、我が国も真の意味での「医療先進国ニッポン」に向けて動き始めていると実感しています。



経済同友会 医療改革委員会
委員長時のパンフレット（2004年4月）

健育会グループでのEPAの取り組みについては、グループ全体でこれまで累計18名（フィリピン14名、インドネシア4名）の人材を受け入れ、看護師2名／介護福祉士5名が国家試験に合格。今回、視察されたケアポート板橋には、現在、EPA介護福祉士2名とEPA介護福祉士候補者3名の計5名が在籍しています。これまでも、ケアポート板橋は、2013年9月に天皇皇后両陛下の行幸啓を賜ったり、また昨年6月にはEPA制度を通じてフィリピンからの人材を多く受け入れて友好・協力関係に協力した功績から、国賓として来日されたベニグノ・アキノ3世・フィリピン共和国大統領をお迎えしての内閣総理大臣主催の歓迎晩餐会にご招待を受け、列席させて頂きました。今回のような視察の申し入れも、健育会グループでの継続的な取り組みが評価されてのことと感じ、大変光栄だと思います。



2013年9月 行幸啓



2015年6月 総理主催晩餐会 出典：首相官邸ホームページ

当日は葉梨衆議院法務委員長から今回の視察の目的をご説明頂いた後、小清水施設長から健育会グループとケアポート板橋の概要とEPAの取り組みを紹介し、その後、施設内の見学、質疑応答を行いました。施設内の見学の際には、その日の日勤だったフィリピン（平成25年来日）とインドネシア（平成26年来日）からのEPA介護福祉士候補者2名が対応させていただきました。



視察団の皆さんからは、「なぜ日本に来ようと思ったのですか?」「どのような1日を過ごされているのですか?」などの質問をいただきました。EPA介護福祉士候補者の2名はそれぞれに、日本語でしっかりと受け答えをし、特に、最後の質問で「自分の国に帰りたいですか?もし、帰ったらどのような仕事をしますか?」と聞かれた時には、「もし試験に受かって、その後1度国に帰ったとしても、またここ、ケアポートに戻りたいです。長く働きたいです。」という趣旨の回答していたのは大変嬉しいことでした。





見学を終えた後の質疑応答では、「報酬体系についてはどうなっているか?」「外国人技能実習生の新たな分野として介護が検討されているわけだが、具体的に実施が可能になったら受け入れるか?」「言語や文化の違う外国人技能実習生が介護の分野で仕事するにあたっての課題や留意すべき点はあるか?」など、様々なご質問をいただき、率直に現場の声をお伝えさせていただきました。特に処遇についてのご質問をいただいた時には、日本人スタッフと全く同等の処遇に加え、国際交流の観点も含めた日本語等の勉強面や生活面での支援についてご説明したところ、「ある意味、日本人スタッフと同等以上の手厚い待遇である」と高いご評価いただきました。



また、視察の最後にご挨拶くださった吉野正芳議員からは「今日は、素晴らしい内容をありがとうございました。実は、私の一番大事な方が、いわき湯本病院でお世話になりました。いわき湯本病院の方々には、本当に心のこもった対応をしていただきましたので、感謝申し上げます。同じ健育会グループの理事長さんですから、ケアポート板橋の心というものは、いわき湯本病院を通じてわかっております。これからもこのような取り組みを頑張ってくださいと思います。」とのお言葉をいただき、大変嬉しく感じました。



今回、法立案・改正の最前線で活躍されている議員や官僚の皆さんが、ケアポート板橋に視察に来られ、この審議が順調に進めば、今後ますます海外からの医療・介護人材の受け入れは活発化していくものと考えます。健育会グループでは、日本の医療の将来を見据え、「医療先進国ニッポン」を実現すべく、海外からの優秀な人材の受け入れ等に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



衆議院法務委員会視察

《参加委員》	委員長	葉梨 康弘	議員 (自民)
	理事	安藤 裕	議員 (自民)
	理事	城内 実	議員 (自民)
	理事	吉野 正芳	議員 (自民)
	理事	井出 庸生	議員 (民進)
	理事	逢坂 誠二	議員 (民進)
	理事	國重 徹	議員 (公明)
		あかま 二郎	議員 (自民)
		門 博文	議員 (自民)
		今野 智博	議員 (自民)
		宮路 拓馬	議員 (自民)
		清水 忠史	議員 (共産)
		畑野 君枝	議員 (共産)
		上西 小百合	議員 (無)

《同行者》

衆議院参事	野一色 裕二
衆議院参事	大越 貴陽
衆議院調査局法務調査室長	矢部 明宏
衆議院調査局法務調査室調査員	田中 知之
衆議院調査局法務調査室調査員	石橋 亜沙子
衆議院調査局法務調査室調査員	米川 千裕
法務省大臣官房秘書課国会連絡調整第二係長	城 暁仁
法務省大臣官房秘書課国会連絡調整第二係員	喜田 龍一
法務省入国管理局長	井上 宏
法務省入国管理局入国在留課長	丸山 秀治
法務省入国管理局参事官	小新井 友厚
法務省入国管理局総務課連絡調整係長	高菅 永次
厚生労働省職業能力開発局長	宮川 晃
厚生労働省職業能力開発局海外協力課長	高橋 秀誠
厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長	榊原 毅
厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長補佐	熊野 将一

